

6/26（水）19：00～統合説明会（岩船中学校）

参加者：PTA 保護者 23 名・学校運営協議会役員 8 名・区長会 2 名・学校 2 名

合計 35 人

《質問・意見及び回答内容》

参加者 この検討会は、1 回きりということか。アンケートの集計結果で反対意見は少ないということだが、あくまでも反対意見はあるということを確認していただきたい。反対意見を説得するのではなく、反対の内容を今後の協議に活用していただきたい。区長会の一部の意見ですが、50 人に案内をして、それで岩船の総意と考えていいのか、という意見があった。

市教委 この岩船中学校区の協議を 1 回で終わらせていいか、どうかは、皆様方の判断により進める。

参加者 すでにアンケートによる了解をいただいているという言葉がかなり出ますが、総意ではない。岩船地区においては、検討会を再度持ちますので、それまで地区、町内ごとの相談というものができるのか、できないのか。検討会を次にできないのかを考えていただきたい。

参加者 母親父親が統合ありきでもしょうがないという雰囲気になっていると祖父母は、反対の意見は出しにくい。これまでずっと繋がってきた伝統文化的なものを継承させていけるのかという心配がある。保護者だけのアンケートではなく、もう少し地域住民に広げて、納得していただければいい。

参加者 代表者だけではなく、積極的に市が地域に入って、市の考え方を説明した方が私はよいと思う。意見を聞きますという言い方はしていますが、結果的には、形づくりに終わっている。例えば、統合したとしても、祭りは神林の子どもたちも岩船に参加させるとか、岩船の子どもたちが神林の神楽、行事に参加させるとか、そういうことができるのかなど、いろいろ教えてもらいたい。

市教委 二つの学校がこれまで大切にしてきた教育活動、伝統、地域性があります。お互いの学校が持つ良さ、たとえ統合したとしても、いわゆる教育課程を作るときに、お互いを尊重しながら、できるだけ交流するように、これまでも統合の中でさせていただいている。

参加者 学校が岩船からなくなると、行き帰りの中学生がいなくなる。挨拶もなくなる。今の状態からすると、統合はやむを得ないと思う。でも、そういう地域の悲しさとか、そういうことを全戸に聞いてもらいたい。それを集計して、配ってもらいたい。

参加者 今、このプリントを渡されて、意見と言われても、細かくて読めません。地域の方にもプリントを見ていただくということも大事かと思います。前回、デメリットをどうしていくのかという意見があったかと思います。どうなったのか聞きたい。それから、学校運営で通常担当する以外の業務をこなす必要があるから、教職員が多忙となり、落ち着いた業務がしばらくという前例が出てます。気になったのでお答えいただきたい。

市教委 最後の点について、学校規模が小さければ当然教員の数は少なくなります。しかし、仕事一つ一つの事務量は総じて学校事務は同じです。教員の数が少ないということは、いろいろな教科を教える担当の先生も配置されません。クラス替えができる学年2学級以上の学校が望ましいと教育委員会では考えております。

デメリットとして代表的なものは、今まで少人数の中で、目が行き届いていたが、人数が増えることによって、目が行き届かなくなるという不安があります。統合による加配教員もありますので、教員の目が行き届かなくなるような人的対応を取っていけるように、県にも要望していきたいと考えております。もう1点、通学距離、時間が増えることがデメリットとして挙げている人も多いです。今までの統合でも学校が遠くなる地域の人はスクールバスで対応していますので、今回も同様の考え方でいる。

参加者 岩船から学校がなくなる、確定申告の説明会も廃止となる。岩船が陸の孤島みたいになってしまうのではないかと。とりわけ小中学校がなくなるというのは、私個人として耐えられない。今日、合意を得たいということですが、1回で合意を得られるのか、聞かせていただきたい。

参加者 アンケートの結果ですが、どちらかといえば賛成というのは、本当は残して欲しいが仕方がないから賛成するとか、アンケートの内容はどういう形で質問されたのか。私個人として飲み込めないところがある。

市教委 実際のアンケートのとり方ですが、岩船中学校は、39.1%でどちらかといえば賛成が一番多い結果でした。5択で、もう全く問題なく賛成、どちらかと言えば賛成、どちらとも判断がつかない、どちらかといえば反対、全く反対。反対という選択肢もある中で、どちらかといえば賛成を選んだということは、肯定的にとらえているものだと解釈している。

参加者 こういうところでは、気持ちが出せない。町内に入れば、心を開いてくれると思います。それを聞いてから、できないか。

市教委 町内に帰って保護者が集まって、町内単位、クラブ単位で集まって話しをして、統合に対する声をもう少し集めたらどうかということでもいいでしょうか。

地域にとって、学校は本当に大切なものだと思います。皆様方は地域の子供もたちに関わっておられるだけに、学校がなくなるということは納得できない、許せないという気持ちはよく分かります。保護者の皆様が、こういう声を出していただいているのですが、そのことについて地域の皆さんは、どう思われるか。

参加者 合併しても岩船中学校は残してもらいたい。神林に行かないで岩船にきてもらいたい。老朽化とかはあるかとは思いますが、岩船人としては残してもらいたい。

市教委 スキームスケジュールにある通り、どちらの校舎を使うとか、統合の形態、閉校するとかは、次の段階の合同検討会で、両校を交えて検討するという事になっていますので、今の段階で教育委員会の考え方はお答えできません。意見としては承る。

参加者 合同検討会では、神林の方々と一緒に検討していきますか。その先の推進委員会はどのようなメンバーになるのか。

市教委 より少ない人数になります。実際に正式に教育活動はどうするとか、校歌、校章はどうするとか、スクールバスはどうするなどを決定していく。

参加者 このメンバーの中から絞られて推進委員になりますか。この統合検討会は、統合はよいが、岩船に残して欲しいとか、そういうことを議論していきますか。

市教委 今回の統合検討会は、教育委員会が示した令和9年度初の岩船中学校と神林中学校の統合について、賛同を得られるかどうか今日の会議の目的です。合同検討会は、双方同じ人数で参加していただいて、どちらの校舎を使うのか、閉校の問題はどうするのかなどを話し合っていく。

参加者 統合検討会ですが、区長会は代表者のみが集まっています。これを総意だと思われても、どうかと思います。今まで話をした回答やアンケートにある意見の回答をもって、合同検討会の前に地域住民対象で誰でも自由参加の説明会をして欲しい。

参加者 前回の時に、当事者となるのはもっと下の世代なので、保育園の方からもアンケートをとった方がいいという声があった。アンケートの対象については岩船中学校、小学校になっていますが、その後のアンケートは取っているか。

市教委 中学校の統合に関して保育園の保護者からはアンケートは取っておりません。取る予定もございません。小学校の統合に関しては、保育園、幼稚園の皆様からは取らせていただいた。

参加者 結局10年ほど先を見れば、今の保育園児の親御さんも当事者になりますが、その辺はあまり加味していない。

市教委 加味しないというか、実際にこの少なくなる経緯をご覧ください。こういう状況をどう思われるのかということをお聞かせいただいています。それに対して保護者の皆さんは、これだと駄目だから、賛成、どちらかといえば賛成の意見をお出しいただいていると解釈しています。それでも駄目だと地域の方が言われるなら、全地区の皆さんにアンケートをとれと言われれば、それは取って、それで統合は反対だとなれば、今後どうされるか。

参加者 私は賛成派です。挨拶も地域で盛り上げていけばいい。小さい規模になって、教育が行き届かなくなる、たくさんの方ができなくなる方が私は心配だと思う。人がいっぱい集まれば、それだけやれることは多くなると思う。

参加者 次の合同検討会の選抜者に選ばれた方が何人なのか、どういう組織体になるのか分からない。この方々にすべてを一任するという形になりますか。それともその意見を持って、各学校などにどうですかと、学校、保護者の方に確認する時間を設ける形で、進んでいくのでしょうか。

市教委 どちらの学校を使うにしても、片方の学校はスクールバス送迎になると思います。そのための停留所の位置、コースなどは1年2年かけて慎重に決定していく。それを最後は統合推進委員会という場で正式に了承していただく予定。

市教委 合同検討会に移った際の教育委員会の考え方ですが、機関の代表は、岩中のPTAが5名、岩小が4名の9名、運営協議会は小中が合同ですので、5名、区長会から2名、岩小、岩中の先生から3名ずつとなります。神林の方は3校となり

ますので、人数の振り分けは違いますが全体の数は同じにで、合計 20 名の予定である。

参加者 市教委のお話を聞いてほっとした。どちらの学校を使うかは、まだ決まっていない。よかった。参加者次の合同検討会までの間に住民説明会をしていただきたい。いろいろな意見が出ているので、それでも知りたいことがあると思うので、それを解消するための説明会です。

市教委 お出しいただいた内容は要約し公表します。今後もしていきます。

昨年度から、学校関係者には 2 回、地域の方には 1 回、そしてアンケートも取らせてもらいました。4 月に入って、さらに学校には説明にあがりました。区長会でも代表者の皆さんにご説明させていただいております。これをすべての住民、市民の皆さんに、全部集めてさせていただかなければならないとなると、かなりのエネルギーが要りますので、今回は岩船地区の代表者の皆さんにお集まりいただいて、皆様方からも地域に働きかけていただく、他の保護者に働きかけていただくという努力をしていただけないかと思います。あくまでも説明会をとれば、それはしなければならぬと思います。地域の賛同が得られなかったら、学校統合はできないと思います。そこまでしなければならぬのでしょうか。

参加者 統合は、絶対に反対だということではなく、理解はしています。住民に対しての説明をきちっと上の方から流してもらいたいと思う。

市教委 皆様方から言っていただいた心配、不安は解消していくようにしなければならぬし、だから統合が駄目だとかそういうのではなく、仮に統合したとしても、いろいろな不安にこうやって取り組んでいく、そういう方策、方針は、今後とも、説明させていただく。

参加者 説明会を開いてもらいたい。住民に対して、ここで説明するよりは、みんなに集まってもらって説明していただきたい。理解できないまま進められても困る。

市教委 公表しながら、手立てを今後、その合同検討会、推進委員会に移った時に、こういう対応をしていきますと、順次ご説明させていただくだけでは駄目でしょうか。すべてこの段階で解消しなければ、統合ということにはご賛成いただけませんでしょうか。

参加者 合同統合検討会は、教育委員会の青写真的なスケジュール、いわゆる時期は、どのようにお考えなんですか。

市教委 一応スケジュール的なものはこちらに記載の通り、順調にいけばということになりますが、神林中学校での統合検討会は来週の 3 日を予定しております。

※補足あり

参加者 4 月の区長会議で、この統合検討会をやっていいかどうかの説明にきました。意見はその場でと言われました。その 4 月の段階で、地域の皆様にお話を聞いてもらいたいという話であれば聞けた。

区民全員の総意かどうか私もとらえきれずにいる。

参加者 区長さんたちの言いたいことは分かりますが、この児童生徒数の推移を見ると合併した方がいいと思う。否定的な意見もあるが、今、子どもを育てている方の

意見が一番大事だと思う。

参加者 合同検討会をもう一度教えてください。例えば、体操着、制服は検討委員会である程度、方向性を決めるのでしょうか。

市教委 概要版の元になっている整備計画方針、市の教育委員会のホームページで公表しております。その22ページに合同検討会の設置、何をするのか書かれています。学校統合の形態や使用校舎等、今後の学校統合に向け、合意形成を図って参る。それが合同検討会の役割である。

参加者 私も統合には賛成です。岩船で育った者なので、自分の通っていた中学校がなくなるのは、さみしくて個人的な意見は反対、今は子どものことを考えれば、大賛成です。地域の方ももう少し積極的に中学校に関わって、その姿も見てもらって、納得してもらえたらいいかと思う。

参加者 私自身は村上出身ではありません。引っ越してきて、すごく交流のある温かい地域だと思いました。統合に関しては賛成ということでアンケートには答えました。統合しても皆さんの愛情があれば、祭りや地域への思いは受け継げるのではないかと思う。それには、地域の皆さんの協力は必要だと思う。今日、資料を事前に見て、意見をもってきたかった。

市教委 なかなかこの場で、次の合同検討会へという舵取りは、なかなかできかねますが、いかがか。

現段階で分からないことは、合同検討会に進んでからさらに検討していただくということでは、今回の合意は難しいでしょうか。

参加者 段取りを今、決めたいという気持ちは分かります。もう1回、地域で話しをさせてもらえませんか。教育委員会が岩船地区に再度、改めてお話をしてくださいということではない。

市教委 今日1回で合同検討会に進むとは思っておりません。まだ納得がいかない部分がありましたら、皆様方から、町内、区長会、PTAに働きかけていただいて、今日こういうお話しがありました、方向性が示されたということをお伝えいただいた上で、再度皆様方にお集まりいただく。

参加者 区長会長から、対象として取りまとめた岩船地区の意見はこうでした、反対意見としては具体的にはこういうのがありました。中身を報告するとか、そういうこともできるのではないですか。

市教委 それは形式にこだわるわけではありませんが、この統合検討会で、次のステップを決定するという手続きになっております。総意でお答えをいただきたい。それが今日ということに、こだわっているわけではございません。

参加者 区長会としては、もう1回区長会議を開いて意見を聞く。各区長さんは、地域で意見を聞く。聞いた意見を区長会で検討する。再度開催は駄目でしょうか。

市教委 過去にもそういう例がございました。説明が悪くて、旧平林中学校は2回、神納中学校も同様に、2回この統合検討会を開かせていただきました。皆さんがよろしければ、再度開催させていただきます。いかがか。

市教委 7月中には開きたいと思います。それまでに皆さんの関係各位で協議し、意

見を集約する。代表的なものをこの場にもう一度持ってくるという提案でいいか。

参加者 学校の方も PTA 方に集まってもらって、もう一度集約をするということか。

市教委 PTA のご意見はここにありますが、それと地域がどうすり合わせていくのか、区長会、まちづくり協議会等で判断していただいて、こうあるべきとか。区長会の皆さんが反対するとなったら、進まないのか。保護者の皆さんはそれでいいのかということになります。そのために区でもう一度丁寧な手順を踏むということは、結構かと思う。

参加者 今日、ここで次の段階に進んでいいかどうかという判断を求められるとは思ってなかった。区長会の中でそんな議論していない。区長も区長会の中で発言できる問題でもないので、町内に帰って意見を聞かないと疑問が残る。今日の場で区長会の立場は保留させてもらって、次の合同検討会に進んでいいかどうかは後で言わせてもらえないか。区長会として合同検討会に進んで良いという返事をさせてもらう。

市教委 例えば、今ここにおられる保護者、学校関係者の皆さんが、合同検討会に進んでいいかどうか挙手してもらって、たくさん手を挙げたとします。それでも区長会はもう一度皆さんに聞いてみると。区長会としては、こういうことを考えていますとなった場合、それは合同検討会に進んだ段階で、声を反映させていただくということであれば、区長会からの要望としては受けとめます。皆さんに集まっていたいただくのが大変だというお話でした。どうでしょうか、皆様方。

参加者 市教委の意見に賛成。

参加者 この場でこういうふうには合意形成がなされましたと区長会の方に諮って、こういう意見があったということで、良いとなれば意見は出させてもらいます。

市教委 合同検討会に進み、区長さんの代表も参加されます。そこで、岩船地区の願いをたくさん言ってもらおう。神林も言ってくる。やりとりする中で解決していくということになれば一番いいのではないかと思います。いかがでしょうか。

参加者 反対だという意見は出ないと思うが、今日参加していない区長も皆さんの意見を聞きたいと思うはず。アンケートの結果を他の区長には伝えないと、本当のところは理解してないと思うので、区長会議は開かせてもらいたい。

市教委 合同検討会に移るという合意を得られた上でのお話ですか。

参加者 今日、もし合意を得られたとなれば、他の区長には話をします。区長が絶対反対だということは言わないと思う。

市教委 私たちは、賛成か反対かを決めて、地域の方々と保護者、学校が対立したとなると良くないです。とりあえず次に進むということには賛同していただいて、そこに区長会としての意見を今後出していくという方向で。

参加者 今日の会議を踏まえて区長会として、今後の合同検討会で話を出していきます。この会議はあと開かなくて良い話しになります。

市教委 なかなか言いづらいとは思いますが、意見の方はまだございますか。

市教委 この場を持ちまして次の段階の合同検討会、こちらの方に進むということで、

皆さんの賛同はいかがか。

その場で区長会の意見も付託すると付度しながら進行していくということで、この場をもちまして、合同検討会の方に移ることで確認させていただきますが、よろしいか。

参加者 (一同賛同)

市教委 この場も踏まえて、区長会からの意見を頂戴するということを付帯して、合同検討会に移らせてもらうということで了解させていただく。